



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.82

2021.秋号



みなみがた荘入所者の皆さんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

社会におけるポジション

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

事業経営の将来像

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

組織の人のあり方

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持つ組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20

施設全体行事



敬老の日記念式典

9月20日(月) 敬老の日記念式典が執り行われました。

今年、ライフケアセンターで満100歳を迎えられる方4名に、内閣総理大臣より賞状と記念品が贈られ、支部長より伝達していただきました。

各施設の代表者の方は各施設長より、敬老の日の記念品が贈呈されました。





お月見お茶会を開催

～文化の秋を楽しもう～

10月19日十四夜にお月見お茶会を開きました。前日が十三夜、今年は十三夜を祝うお茶会です。和菓子のお題は紅葉、お茶を一服立ててもらふ合間に、秋を感じさせる言葉を入居者の方々と考えました。出てきた言葉は・・・



すすき
松茸 柿 さつまいも
脂ののったさんまを食べさせて
食欲の秋
秋の七草 吾亦紅 菊
秋祭り 秋の夜長 虫の声
我 秋を想う



・・・続けて並べたら一編の詩になりました。コロナ禍で窮屈な日々を過ごす中ほっこりした気分を感じて頂けたら職員一同幸せです。会の終わりは座って踊る炭坑節、♪～ 月が出た出た月が出た～ よいよいー♪ さあ 皆さん 元気を出していきましょう！

介護職員 熊代 薫

お題『秋、相談員のつぶやき』

『墓参り 耳でささやく スト一蚊一』

『稲刈り後 ほのかに香る 通勤路』

『耕運機 ドタバタ多忙 土田畑田忙 稲穂刈り』

『目の前の 果糖に果っ糖(葛藤) 肥ゆる秋』

『ベルト越え お辞儀したがる 五十路腹』

『割高な 七五三だよ 父誤算』



『スケート、とかけまして『ハロウィン、と解きます。その心は? どちらも『滑走(仮装)、するでしょう!』



当里は、入居者様の4割以上が90代の方です。皆様が元気に生活しているお姿を見ていると、私ももっと元気を出さないといけないなあと思う日々です。今年も残り一ヶ月程度となりました。入居者さまやご家族さまには新型コロナ対策でご負担をおかけすることばかりで申し訳なかったです。来年こそは誰もがコロナの脅威から解放された日常を送れるようになってほしいものです。

相談員 野上 雄介



ライフケアセンター



なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)



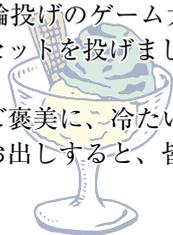
《8月行事》

・なごみ苑では月2回程度DVDを用いた体操を行っています。密にならないように少人数で行い、タオルやボールなども使って身体を動かします。皆さん、画面に登場する「ごぼう先生」の掛け声に合わせて体操を頑張られています。



・8月31日に『輪投げのゲーム大会』を行いました。入居者様のADLに合わせて投げる位置を調整して5回2セットを投げました。応援席からも「入れ入れ!」と声援が飛び交い盛り上がりました。

頑張った後のご褒美に、冷たいアイスクリームとウエハースをお出しすると、皆さん喜んで下さいました。



《9月行事》

・なごみ苑では毎月1回手芸、工作の時間を設けています。9月は、紅葉の壁画作りに取り組みました。新聞記事の中にあるカラーの部分をかぎり、15cm×15cm大の台紙に貼っていきます。皆さん、濃淡の色を合わせるのに苦労しながら数枚ずつ仕上げして下さいました。かぎり絵の上には折り紙で作った紅葉を貼って秋らしい壁画が完成しました。毎月、入居者の協力で素敵な作品が出来ています。



・9月14日に『お月見会』を開催しました。今回は和菓子と煎茶をご用意しました。お月見に相応しい月・ススキの練り切りの和菓子を見た入居様は「秋らしいわね」と喜び、「美味しい」と笑顔が溢れていました。飾っている月見団子を見て「本物みたい」と触ってみたり、「間違えて食べそうだな」と言われる方もおられて、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。



《10月行事》

・10月14日に『うちわで風船ピンポン』というゲームを行いました。まずは、準備体操をして身体をほぐしてからゲーム開始です。ゲーム中は、つつい本気勝負で力んでしまい、強く打つてしまうとテーブルを超えて飛んでしまうなどハプニング続出!!と難しさもありましたが、皆さん初めて行うゲームに真剣勝負で取り組み楽しんで下さいました。



・10月26日に『秋まつり』を開催し、職員はハロウィンに因んで仮装の演出で盛り上げました。食べ物は、手作りのミニピザと、こんがり焼いたスイートポテトを朝から下ごしらえをして準備し飲み物は、お茶・コーヒー・ノンアルコールビールをご用意しました。入居者の方にはあまり馴染みのないピザで「お好み焼き??」と勘違いされる方も居られましたが、焼き立てアツアツ、チーズとろ～りのピザを口にすると「これ美味しい!」と目を輝かせ、冷え冷えのノンアルコールビールも「最高!」「2杯も飲んじゃった!」と嬉しいお言葉を頂戴しました。入居者様と職員もニッコリ笑顔の楽しい時間を過ごせました。



面会や外出制限が緩和されていますが、まだまだ入居者様にはご不便をお掛けしております。

今後も苑内で、ストレス解消し楽しめる行事を企画してまいりますので是非ご参加下さい。

介護職員 岡 洋子・三好 理加

祝100歳!!



9月15日に100歳を迎えられる平チエミ様のお祝いの会をみなみがた荘で開催しました。コロナ禍ではありますが、日頃交流のあるご利用者様も参加し温かい良い会になりました。ご利用者様からは「よかった!よかった!!おめでとう!」とお祝いの言葉を言われ中には自分の事のように号泣し喜ばれたり又、職員からは手作りのケーキでお祝いし、皆で写真撮影を行い笑顔がいっぱいになりました。息子様からのお祝いのメッセージによると平さんは昔、「私はひょっとしたら100歳まで生れるかもしれんよ」と言われていたそうです。その言葉を聞き無事に今日、100歳を迎えられた事は



本当に嬉しく胸にじんと来ました。広島県瀬戸田のご出身にちなみ職員全員で書いたメッセージカードは島をイメージし、島の特産物であるレモンとミカンをデザインにしました。メッセージの中には「僕も(職員)100歳まで生きるのによろしく!」「白い髪にトレードマークのカチューシャが良く似合って素敵ですね!」と言った沢山のお祝いの言葉でいっぱいでした。これからもずっと穏やかで元気に過ごして頂けるよう職員皆でお世話していきたいと思ひます。

介護職員 猪田 香織

コロナ禍における最近の取り組み



コロナウイルスが蔓延して1年半が経ちます。デルタ株が猛威をふるった第5波が収束し、少し落ち着いた日々になっているのではないのでしょうか。第5波の収束、ワクチン接種者も増え、家族との面会も少し緩和されました。ワクチン接種終了より2週間経過していればアクリル板越しの面会が出来るようになり、少し前進したなと感じています。



コロナ感染者の増大により各地の他施設では、入院が困難となり施設での対応が余儀なくされるという事態になっていました。施設での対応になりクラスターが発生するということもありました。当施設ではコロナ陽性が出た場合の対応を机上でシミュレーション研修を行い、どのように対応し、濃厚接触者を選定するのか等を勉強し知識を深めることが出来ました。またクラスターを起こさない為にも、職員の防護服の取り扱いの説明、着脱訓練などを行い、感染を拡げない行動がとれるように研修を行いました。

今後もシミュレーション研修を行い、対応出来る準備をしたいと思ひます。

看護職員 富岡 純子



なでしこ苑

介護老人保健施設

なでしこ苑では8/25に3、4階フロアで夏祭りを開催しました。現在コロナ禍であり、面会制限や感染対策など様々なストレスを少しでも解消出来れば…という思いで、色々な出し物を職員で考えました。まず一つ目は玉入れ！なでしこ苑にある玉入れの機械でビンゴ形式で玉を投げてもらいました。上手な方は縦横斜めすべてを揃え高得点を獲得し、楽しまれていました。二つ目は蝉取りゲーム！折り紙で作った手作りの蝉を、洗濯バサミでつまんでもらうという、手先を使ったゲームを行いました。意外と難しく苦戦されている方々も多くいましたが「難しいなあ」と言いながら一生懸命されていました。三つ目は魚釣り！大小さまざまな大きさの魚を釣り竿で釣ってもらいました。中には一人で10匹以上も釣られており、とても熱中されている方もいました。他にも輪投げなどのゲームで楽しんで頂きました。現在は感染対策の影響で3階、4F階別々で行いましたが、コロナが落ち着けばまた3、4階合同で楽しく催し物が開催できればいいなと思います。

介護職員 坂本 奈美





〈2F〉《9月の誕生日会》

どんな出し物をしようか悩んだ結果、以前盛り上がった二人羽織をやろうと決めました。ただ、前回と同じで「食べ物を食べる」だけでは物足りない。どうしよう…。んー…。「そうだ！化粧をしよう！」ということで今回は化粧と食べ物に決定！ところが計画担当者は男性職員2名。化粧って何を用意すればよいのだ？というところから始まり、女性職員や妻に助けを求め口紅やファンデーションなどを入手。準備はOK！



当日、女性職員同士での化粧でスタート。最初はしーんと静まり返っていましたが途中から「うわーっ!」「そこ違う!」「下!下!」など、いろいろな声とともに笑い声が上がりました。2組目は男性職員同士。化粧する側とされる側(私)は長年一緒に仕事をしてきた者同士。化粧をする手に容赦などあろうはずがありません!出来栄は写真をご覧くださいませ。お次の食べ物はアツアツのうどんとシュークリームを用意。二人羽織の前と後ろは入れ替え。きっちりお返しはさせていただきました。

会の最後、男性利用者の方より「お見事でした!」と声を掛けていただきました。その後も「さっきはおもしろかったよ。」「楽しかったなあ。」など、いろいろな利用者の方から言葉をいただきました。たちばな苑2階の利用者の皆さま!今回は遠慮されていましたが、次は是非とも皆さまが二人羽織に挑戦してみませんか!?

介護職員 才本 雅之

〈3F〉《スイカ割り》

今年も、コロナウイルスの影響で行事が中止になっており、なかなか頻繁にご家族様に会えなかったり、外出も出来ないため、少しでも季節感を感じていただきたいと思い、8月19日に夏の風物詩のひとつでもあるスイカ割りを、パブリックスペースにて利用者の皆様方と行いました。個々に、目隠しをして職員が事前に準備した、スイカに見立てたビニール風船を棒で当てて、皆様とても楽しまれていました。その後、利用者皆様で本物のスイカを「美味しい、美味しい、美味しい」と、言われながらスイカを全部食べられていました。珍しく、普段あまり食事を食べられない利用者様も喜んで食べられていたので、すごく嬉しく思いました。今後も、このような珍しい企画をどんどん開催していきたいと考えています。



介護職員 牧野 圭祐

〈4F〉《風船バレー》

すっかり肌寒くなりようやく秋の訪れを感じられるようになってきました。秋と言えば食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などいろいろあります。4階ではスポーツの秋ということで、10月のお楽しみ会で風船バレーを行いました。ユニット対抗で行い、5点取ったチームが勝利です。それでは試合の開始です。職員の「よいスタート」の掛け声とともに風船が宙を舞います。初めこそは遠慮気味だった利用者の皆様も、試合が進むにつれてだんだんと本気モードに。「そっちに行ったよ!」「打って!」など声が出るようになっていました。またつつい席を立てしまう方もいました。試合の中盤には利用者様が打った風船が割れてしまうというハプニングが。職員も利用者様もみんな大笑い。でもご安心下さい。こんなこともあろうかと風船をもう1つ余分に用意していました。気を取り直して試合の再開です。それからは無事?風船も割れることなく結局試合を4回行い、仲良く2対2の引き分けで終わりました。普段はあまり目を開けない人が目を開けてされたり、少し難しいかな?と思っていた方がしっかり打っていたりと、驚くことが多くまた機会があればやりたいと思えるような内容でした。

コロナウイルスの感染状況も随分と落ち着いてきました。しかしまだまだ油断ができない状況が続いています。また今年はインフルエンザが流行するのではないかとされています。皆さん体調管理をしっかり行い、コロナやインフルエンザに負けないよう気を付けて過ごしましょう。

介護職員 上田 悠人

デイケアセンター

通所リハビリ



デイケアでは食後のひと時を「ちょこっと健康教室」と称して体の構造や機能についてわかりやすく知っていただいたり、季節ごとの体調の変化に対応した生活の助言だったり情報提供に努め、今現在の体としっかり向きあい大切に毎日を過ごしていただけることを目的にしています。

話しの後半は、リズムに合わせて体を動かしたり・手作り楽器を鳴らしたり・声を出したりと「体感」していただき「心地良さ」を感じていただくことを大切に取り組んでいます。

「老化」することなかれ 「老花」となれ 老いて花 咲かせましょう!!



音楽リハビリもやってるよー

音楽に合わせて決まった振り付けで踊り歌も歌う
楽しく…気持ち良く…後はスッキリ (o^—^o) ニコ

『作品づくり』

今年8月9日、瀬戸内海に浮かぶ直島で草間彌生さんのオブジェ「南瓜」が台風によって流されてしまいました。(ホントは破損) 残念に思っていた矢先、デイケアに漂着いたしました (*´▽`*) 定番の縫物かぼちゃん着、来年の干支作りにも力が入っています。どんな物が出来上がるのでしょうか。楽しみです。貼りもの上手な利用者様、一枚一枚丁寧に張られています。なんと！ドールハウスではありませんか。素敵なお家が出来上がるようですね。



『運動会』

観覧者無しで行いました。🎊運動会🎊

紅組白組と熱戦が繰り広げられます。皆さんいつもより手足が活発に動いておられます。

後日の疲れ・痛みが少し心配になるくらいでした (笑)

紙風船と輪をうちわや足で上手に送り、トイレットペーパー芯をひもで上下しながら送るなど全身が使われていました。

最後はやはり「玉入れ」赤勝て白勝てと楽しい時間が過ごせました。



看護職員 高橋 孝子・介護職員 吉原 由美



敬老の日記念式典



式典

9月20日(月) やすらぎホールにて敬老の日記念式典がありました。

コロナウイルス感染対策の為、今年も少人数での式典でしたが、皆様に日頃の感謝を込めまして記念品の贈呈をさせていただきました。

昼食は、皆さんでお祝い御膳を。美味しそうに召し上がられていました。



敬老会食事

デイサービスでの1日

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が解除になり、少しずつではありますが以前の暮らしに戻ってきています。ですが、まだまだ全て解除とはならず、デイサービスでも皆さん一緒に行事をするという事がなかなか難しいのが現状です。

そんな中でのデイサービスの1日の過ごし方を一部ではありますがご紹介します。

☆来荘後から午前中は思い思いの過ごし方を。

手洗い・うがいをしていただき、バイタル測定などの健康チェック。その後、お茶を飲みながら皆さん思い思いの時間を過ごします。

新聞・雑誌を読まれる方。テレビを見ている方。入浴される方。朝から脳トレプリントを頑張られる方。職員も利用者の方に負けじと間違い探しなどの脳トレプリントで、一生懸命 脳を活性化しようと頑張っています。

昼食前は、皆さん揃ってテレビ体操・口腔体操や機械を使っての足の運動を行い、ムセる事なく美味しくご飯が食べられるように体をほぐします。



間違い探し



テレビ体操

☆午後からは、小集団での体操や作品作りが始まります。



個別体操

個別体操の方は、機能訓練指導員の指示のもと、機能訓練ソフトを使用して足腰の体操から、普段の生活の中での悩みを解決出来るような機能訓練プログラムを提案しています。

体操以外の方は、貼り絵などの作品作りです。

始めは「私には出来ないよ」などと言われている方も、気が付けば作品作りに没頭。時間が来ても「もう少し!!」と頑張られる方もいます。

その後は、ソーシャルディスタンスを保ちながらの集団レクリエーション・集団体操へ移っていきます。皆さん、身体だけでなく声もしっかりと出し、マスクをしていてもわかるほど笑顔も見られています。



おやつ

身体を動かした後はおやつの時間。おやつの中には「こんなに食べたら、晩御飯が食べれんわー」と言いながらも皆さんペロッと食べられます。

おやつの中から帰るまでの時間は、歌を歌ったり・ランプで盛り上がりたりと娯楽の時間へと移っていきます。



作品作り

一部ではありますが、利用者の方は、デイサービスでこのように過ごされています。毎日笑顔が見られ、笑い声が聞かれ、楽しんで頂けている様です。職員も、皆さんの笑顔を見ながら楽しく過ごさせていただいています。

相談員 板野 文映



集団レクリエーション



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム 憩いの丘

秋の味覚



朝晩の気温差が厳しくなり、山の木々も少しずつ色付いてきました。

コロナ禍で外出行事ができない中、少しでも秋を感じて頂くために紅葉を見ようと園庭に散歩に出かけました。張り切って出かけましたが…少し時期が早かったようで山々が色づくにはもう少し時間が必要なようです。岡山の紅葉情報によりますと11月の中旬が見ごろとの事でもうしばらく先の事となりそうです。



残念な気持ちでいっぱいのところ、ふと施設の入口にある柿の木のことを思い出しました。玄関より先に進み柿の木を見ると、大きな柿がたくさんなっています。

ご利用者が「大きな柿がなると、あの柿を取って食べたいな」と満面の笑顔で言われるのを聞いてとても暖かい気持ちになりました。

とても大きなおいしそうなお柿ではありますがそのまま食する事が出来る柿は、鳥たちのごちそうになってしまったようで…皆がおいしそうに見えた柿は全部渋柿でした。干し柿にして皆で食べる事が出来たら喜ぶだろうな～(笑)

また山々が色づいたら出かけたと思います。

介護職員 高橋 伸哉



秋の散策



山々の木々も少しずつ色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。朝夕の冷え込みもいちだんと厳しくなり布団も暖かい物へと変えられたことと思います。

憩いの丘の廊下には「足守山野草の会」の皆さんが秋の山野草を10月21日～26日の期間多数展示して下さいました。自然の可憐な美しさと日本の四季を感じさせられる山野草はとても可愛いものが多く愛好家の方も多数いらっしゃるとの事です。

施設内に展示して下さいしている為、憩いの丘に入所中のご利用者も気軽に見ることができ大変喜ばれております。

赤く色づいたマユミ、紫色の小さな実をつけたムラサキシキブ、小さな花をいっぱい咲かせたイトラッキョウ、花卉が漢字の大的字に似たダイヤモンドなど他にも数十点の鉢植えが所狭しと並べられています。

いつもお忙しい中ご利用者の為に展示して下さいしている足守山野草の会の皆様、大変ありがとうございます。憩いの丘の利用者と共に季節を感じる良い機会となっております。



介護職員 藤井 昌子

憩いの丘 デイサービスセンター

10月

今話題のポポーを頂きました。

明治時代に日本に持ち込まれた**ポポー**。幻のフルーツと言われ、他にも“アケビガキ”“ポポーノキ”とも呼ばれます。生まれは北アメリカで、バンレイシ科の落葉高木です。「森のカスタード」とも例えられるくらい、ねっとりとした甘いクリーム状で香りがとても良い果物です。2本以上の株を育てることが果実を収穫するコツで、花はチョコレート色で実がつくまでに早くて3~5年がかかります。まさか憩いの丘の近くにこの珍しい果物を栽培している方がおられたとは!! 本当に珍しい物を見せていただけて、流行の波に乗れた気がします。ありがとうございました!



憩いの丘 デイサービスセンター 副主任 矢尾 みずほ

AED講習会

10/5火

日頃から急変時対応の勉強会をテキスト上で行なってはいるものの、平常心で対応できるか自問自答すると答えは「no-!」と返ってきます。そんな気持ちの迷いを払拭するために今回実践勉強会をデイサービスで行なってもらいました。AEDを正しく使えば助かる命がある。いつ起こり得るか分からない急変時に備える事は大切です。“習うより慣れる!”の気持ちで、日本救急医学会認定ICLSインストラクター指導の下とても充実した約一時間の講習会になりました。

メンバーの感想

- ・救急隊員に引き継ぐまでの一連の流れを1つのチームになって学んだ。
- ・胸骨圧迫の5cmと言う感覚は難しいと感じた。
- ・胸骨圧迫30回するまでに息が上がってしまう、多くの人で交替し出来たら良いと感じた。
- ・AEDの使い方を多くの方が理解できていたら一人でも多く救える命が増えると感じた。
- ・一連の動作を確認しながら一つ一つ分かりやすい実技指導だったので有意義な時間で、普段からのチームワークも活かす事ができた。



実際に体を使い訓練する事の大切さを身をもって体験し習得することができました。さらなる団結力の向上に取り組んでいきたいと思えます。



憩いの丘
デイサービスセンター
管理者 吉岡 弘子

介護老人保健施設



料理会&プチ夏祭り



令和3年8月25日(水)になでしこの家にて、料理会&プチ夏祭りを開催しました。コロナ禍において、夜市など行事が中止になる中で、室内でも、夏祭り・夏を感じて楽しんで頂ける事がないか考え準備しました。

料理会では、今話題のふわふわ軟らかい食感の台湾カステラを作り、BGMに盆踊りの曲を流し、プチ夏祭りで、スイカ割りとビンゴ大会を行いました。

スイカ割りでは、大きなスイカを見てビックリされ、目隠しをした職員に、「もうちょっと右！」等元気よく声を掛けられていました。ビンゴ大会では、「全然こないね。」等、皆様真剣に行われていました。おやつに、台湾カステラとスイカを食べ「美味しい!!」と大変喜ばれました。

入所者様の笑顔を沢山見ることができ、「楽しかった。」「やっぱり笑わんといけないね。」と、お言葉を頂戴し、職員もとても楽しい時間を過ごせました。今後も皆様に楽しんで頂けるよう、職員一同頑張ります。

介護職員 難波 真吾

ユニット内料理会を開催

「今日は何の日？」といつもと違う様子のリビングに不思議そうに出てこられる入所者様…。外出や行事に制限がかかる中、『少しでも楽しめることをしたい。』と令和3年8月26日(木)料理会を行いました。事前にリクエストを聞いたところ、「やっぱり寿司じゃろ」と一番人気だったばら寿司を作ることに。数日前から準備していた提灯や花火の飾りを施し、夏らしく模様替えしたリビングで、まるで婦人会の集まりのようにエプロン姿の利用者様が率先してお寿司を作ってくださいました。材料を切ったり、ご飯を混ぜたり、慣れた手つきであっという間に完成し、「ええ加減じゃろ」「家でもよく作ったわ」と、いつも以上に会話が弾んだにぎやかな食事のひと時でした。

楽しんでいただくつもりが、利用者様のパワーや笑顔に元気をもらい、「また頑張ろう！」と思えた一日になりました。



介護職員 鈴木 梨加

秋の町内事前溝掃除を実施

令和3年9月4日(土)に秋の町内事前溝掃除を、職員有志で実施しました。コロナ禍でもあり、感染対策を行ったうえで、日頃から地域で事業ができることに感謝し、施設周辺の溝掃除や草抜きをしました。早朝から約1時間清掃活動ができ、清々しい気持ちになりました。



事務職員 市川 浩司

介護老人保健施設



おめでとうございます！

令和3年9月20日(月)に利用者様は元気に敬老の日を迎えられました。備中荘では、コロナ禍を考慮して昼食にお祝い御膳弁当を用意しました。赤飯に天ぷら、煮物や茶わん蒸しと豪華な盛り合わせです。利用者様からも「すごいなあ」「おいしそう！」と声が上がりました。彩りも綺麗で、目にも舌にもおいしい弁当だったので、利用者様も満足そうな様子でした。

おやつには紅白の練り切り和菓子、帰りの会では日頃の感謝を伝え長寿と健康を願って心ばかりのプレゼントを手渡させて頂き、楽しい1日を過ごして頂けたと思います。職員も心温まる時間を一緒に過ごすことができました。

早くコロナが終息し利用者様が自由にお話を楽しめる日が来ることを祈っています。

介護職員 遠藤 直美



不在者投票を実施

令和3年9月22日(水)に岡山市長選挙を、10月27日(水)に第49回衆議院議員総選挙ならびに第25回最高裁判所裁判官国民審査の不在者投票を実施しました。

施設内で行われる例外的な投票であるため、利用者様が自由な意思に基づいて投票できるよう、十分な配慮のもと行わせて頂きました。



事務職員 市川 浩司

備中荘 消火訓練及び防火避難訓練を実施

新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少傾向にあったこともあり、令和3年9月29日(水)に消火訓練を、10月28日(木)に防火避難訓練を実施しました。両訓練とも済生会吉備病院の職員も参加し、消火方法の確認や避難誘導等の訓練を行いました。備中荘でも、防火や防災への意識が高まっており、済生会吉備病院とも連携し、毎回真剣に訓練を実施しています。

定期的な訓練を実施し、より安全で安心される施設にしていきたいと思えます。



事務職員 市川 浩司

秋祭り

10月10日は地域のお祭りでした。澄み切った秋空の下、ピーピー・ドンドンと音を立て、こども神輿が宇垣荘に入り、手拍子で迎えました。子ども会、保護者、地域の方などが集まり、飲み物の交換や写真を撮るなど交流を行い、お神輿や子どもたちの元気な声にパワーをもらいました。

立派な太鼓を叩かせてもらいドンドン。「やー出来んわ。」と言いながらもリズムを付け、大きな太鼓の音が響き渡りました。そしてお昼は祭りといえば、お寿司。お祭りを満喫した1日となりました。



介護職員 伊達 美智子

特別養護老人ホーム

楽しかった運動会

秋晴れの中、感染対策を徹底して運動会を開催しました。玉入れや玉引きなどを楽しみました。普段は静かな方も、笑顔で張り切っていました。来年はコロナが治まり、盛大に出来たらなあと思いました。



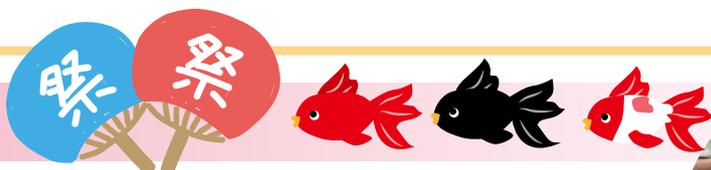
こんなの
楽勝よ～



介護職員 今井 恭子

デイサービスセンター

夏祭り



8月20日宇垣荘夏まつりをコロナ対策の為、各事業所で行いました。金魚すくい、射的、玉入れ、法被や浴衣姿で雰囲気を出し盆踊りもしました。

金魚すくいは「おえりゃーせんで」「すぐ破れたがな」等言いながら頑張ってお上手にすくわれ、射的はしっかり狙いを定め打ち、当たると「おー」と声と拍手がおこりました。玉入れは箱にボールが散って花火に見えるよう工夫しました。

最後に盆踊りの音楽が流れ始めると「私、好きなの」と立ち上がり職員と一緒に踊られる方も。昔を思い出し楽しいひとときを過ごせました。



介護職員 森本 康子

おいしいかき氷はいかがですか～



盆踊り大会が中止になったので、今年もかき氷をして暑い夏を乗り切ろうという話になりました。

去年に引き続き、沢山のシロップを準備しました。いちご、メロン、ブルーハワイ、抹茶、小豆に忘れてはいけない練乳♡そして今年は変わり種のオレンジ☆（これが案外いける！昔からある駄菓子のオレンジガムに近い味）

ワゴンにシロップ達を並べて、いざ出陣

「お知らせします。今日はかき氷をします。皆さん食堂へお越し下さい」と放送すると、ワゴンの前が入所者の方で賑わう、賑わう。「何味がええかな？」

「私、メロン！」「ブルーハワイにしてみようかな」直ぐに提供できるように準備したはずが、かき氷機をフル活動しても皆さんの注文についていけない職員（；▽；） 「こっちおかわり」「こっちもお～」

終わる頃には皆で涼しさも味わうはずが何か暑い、暑いよな？何で？と思いつつ……。おかわりは自由となっていたので、一人二味ぐらいいは楽しんで頂けたのではないのでしょうか。中にはかき氷を急いで食べると来るもの。そう『頭痛』です。何人かの方はこっそり、こめかみの辺りをトントンしていました（°Д°）

今回準備した某スーパーの小豆缶がふっくらとして美味しかったようで、小豆のトッピングを頼まれる方が多くおられました。食べた後には美味しかったわあ～と満面の笑みで部屋へ戻って行かれる姿を見る事が出来て良かったです。

介護職員 有坂 幸代



〈行事食〉夏野菜カレー

夏のお楽しみメニューとして8月31日(火)、調理師さんからの提案で入所者様にカレーの上にトッピングする野菜をオクラ、ナス、パプリカ赤色、パプリカ黄色、カボチャの5種類の中から3種類選んで



いただくことにしました。入所者様がトッピングを選ばれる際には「あと何色がいいかなあ…」と赤や緑など色の組み合わせを重視される方が多くおられたように感じました。カレーという魔法の力のおかげで野菜が苦手な方も悩まされることなく3種類の野菜を選ばれていました。

「カレーは毎日でもいい」、「カレーならなんでもいい」とおっしゃる方がいるほど人気の高いメニューということもあってか翌日にも「おいしかったよー」と声をかけていただきました。普段と違うカラフルな盛り付けも好評だったようでよかったです。

管理栄養士 友次 朋恵



園内研修(スピーチロックについて)

9月28日、『見えない身体拘束“スピーチロック”～あなたもやっていませんか？～』という題目で、研修を行いました。

まず、実際の場面で無意識に行いがちな入所者へのスピーチロックが起きやすい背景をいくつか挙げたうえで、スピーチロックが引き起こす弊害について考えました。そして、身体拘束の『3つのロック』（フィジカルロック・ドラックロック・スピーチロック）についておさらいした後、スピーチロックをしない為にはどうしたらよいかについて考えてみました。

肯定や依頼型の言葉に置き換える、提案の言葉を入れてみる、入所者の名前や『どうしましたか？』と優しく声掛けすることによって、一方的な言葉を使わないようにする、また普段のケアや業務方法を改めて見直し、業務しやすい環境に変えることで職員の一人ひとりが心にゆとりを持てるようにする、介護の最大の武器『傾聴』をすることで、入所者一人ひとりの意思を尊重していくことが大切であると学びました。

普段の何気ない言動がスピーチロックにあたる行為を起こしているかもしれません。いつものように発している言葉かけについて、改めて考える良い機会となりました。

生活相談員 田村 嘉章



作品介绍

13時30分から玉松園のレクリエーションの時間が始まります。

いつもは、皆でワイワイ、ゲーム等をするのですが、コロナ禍の為現在は、ソーシャルディスタンスを保つ為個々で作品を作成し、大きな作品を作ったりしています。

季節に合わせた作品を、新聞紙や封筒、端切れ等を使用し、切ったり、貼ったり、折ったり、その方の出来る事をリハビリを兼ねてしてもらっています。

出来上がると「わあ～！すげえなあ！」「ええのができたがあ～。」と、笑顔がみられます。「次は、何を作るんでえ。」と、皆さん楽しみにしており、職員もアイデアを出すのに一苦労しています。



来年の干支は…もうすぐ完成♡乞うご期待(^^)

※作品の一部ですが紹介しま～す。

介護職員 二宮 多恵子



祝（敬老会の日）



令和3年9月20日（月）、敬老の日記念式典が開催されました。国家斉唱から始まり、施設長の挨拶のあと、長寿のお祝いが行われました。

今年も、新型コロナウイルスの予防対策として、外部の方は招待せず、式場に入れる入所者もお祝いの対象者のみと制限し、席の配置も密にならないようにしました。

米寿の方が1名、傘寿の方が1名おられ、さらに長寿で園よりの特別祝いを受けられる方が2名で計4名の入所者が式典に参加されました。

それぞれの方に施設長より記念品が贈呈され、入所者代表より謝辞が述べられ式典は終了しました。

来年こそは盛大に『敬老の日』をお祝い出来ますよう祈ります。

事務所 吉澤 和幸



秋のお楽しみ会

コロナ禍の中で様々な行事や玉松園祭が中止となる中、入所者さんの活力を持てるように10月27日に『秋のお楽しみ会』を開催しました。

喫茶コーナー、バザーコーナー、ゲームコーナーの3会場に分けて楽しんで頂きました。

ゲームコーナーでは**ストラックアウトゲーム**、や**玉入れゲーム**を行い豪華参加賞（お菓子の詰め合わせ）を用意し、さらに点数の良い方にはBOXティッシュをプレゼントし喜ばれていました。また、バザーコーナーでは「この服は似合うかな～」とか久し振りの買い物に目を輝かせていました。大きな縫いぐるみを買われた方は「可愛いわ～」「夜一緒に寝るんじゃ」と嬉しそうにされて



ていました。喫茶コーナーでは、たこ焼き、ミニあんぱん、焼き菓子、飲み物が用意されていて、そこでバザーで買った物を見せ合い批評をしたりして楽しい時間を過ごされていました。

来年には玉松園祭や様々な行事が出来るように願っています。

介護職員 重利 徹





和みの郷かなや



養護老人ホーム(一般型特定施設)

納涼祭

8月11日：今年も和みの郷では、コロナ禍の為、施設内での納涼祭を行いました。納涼祭開始の放送と共に、各階の入所者さんが順番で『魚釣り』『輪投げ』『スイカ割り』の3種目を楽しまれました。

最初は、「できるかな～」と心配そうでしたが、いざ挑戦となると「スイカが割れた～。」、「大きなクジラやウナギが釣れた！」と大きな声が聞こえてきました。

日頃ゲームなどにあまり参加されない方も職員と一緒に楽しく参加されました。

食堂では、屋台風メニューがバイキング形式で並びました。🍴ひやむぎ、焼きうどん、焼き鳥、いか焼き🍴など盛りだくさんの食べ物が目の前にズラリと並ぶと、「どれにしようかな～?」、「全部食べたい!!」と、いつもよりたくさん食べられていました。



割れるかな～
あ～お割れんかったの残念



その後、各ゲームの優秀者への表彰を行い、おやつのバイキングを楽しみました。

最後に皆さんで盆踊りを踊り、今年も笑顔で、納涼祭を終える事ができました。

介護職員 田中 栄子

誕生日会 『カラオケ採点マシン』

以前カラオケ採点マシンで、施設長が「兄弟船」を熱唱し、『89点』と高得点が出ました。

今回のアトラクションでも、カラオケ採点マシンを使ってのカラオケを計画しました。まず、入所者さんと職員で「浪花恋しぐれ」を熱唱。なんと『71点!!』でした。コロナ禍の為、外出もできないなか、何か楽しんでいただけたらと急遽思いついたのが・・・職員扮する『場末のスナックママ・純子』、施設長扮する『ママの大ファン・常連客』という設定で仮装をして、デュエットした『銀座の恋の物語』が大好評で、今回は「もしかしてPART2」の曲で再登場。歌いだしも、声量もいう事なし！入所者さんにも笑っていただき大成功。いざ採点結果が出たところ、マシンが焼き餅を焼いたのか『68点!!』と残念な点数でした(笑)

点数はいまいちでしたが、とても好評で皆さんに喜んでいただき、笑いが絶えない時間となりました。



はああ!?
68点!?

あははははは!

なんてん なんてん
なんてんだあ～

🎵のためなら～
女房も🍷かすう
酒や! 酒や!
🍷もってこ～い!

計画作成担当 古屋 純子

祝・敬老会



9月20日：「敬老会式典」を取り行いました。昨年に続き、コロナウイルス警戒中で来賓の方々の出席は叶いませんでしたが、厳かなものとなりました。

めでたく「米寿」を迎えられた方がおられ、施設長より新見市からのお祝い金を渡していただきました。引き続き、老人互助会の代表者に支部岡山済生会からのお祝いの品を受け取って頂き、皆さんの健康と長寿をお祝いしました。

また、岡山西部ヤクルト販売様「ヤクルト・お祝い金」を、ポルカ天満屋ハッピータウン様「番茶・トイレットロール」の記念品を頂き、披露させていただきました。

式典後には、食べきれないほどの豪華な会食で、普段と違う雰囲気の中でのお食事を楽しませていました。

後に、職員によるアトラクション「阿波踊り」の披露で会を終了しました。入所者の方からは、「楽しかった～☺」「踊りも上手だった！」と言って頂きました。

短い時間でしたが、皆様に笑顔で過ごして頂いた一時となりました。

介護職員 瀧口 康士



なんやら気配を感じるなあ～
なんじゃろーかあ？



ミニミニ パラリンピック



毎週、月曜日と金曜日には介護職員によるレクリエーション活動があります。

今年は東京オリパラが開催され、日本選手団の活躍が目立ちました。その中でも身近な卓球（ピンポン）が大健闘。早速卓球に挑戦!! なんとテーブルは段ボールで作った手作りの台、球は風船、ラケットはうちわ。ユニークな競技に皆さんとても興味を持たれて、自分の順番を待たれていました。



静かなる戦い



あら…!



きおおおお～!

71歳 vs 94歳
まだまだ負けんよ!
(´▽`)

実際に競技してみると、風船ボールは思うように相手コートに入りませんが、華やかなラケット裁きをされる利用者の方もおられました。

中でも注目の選手は、71歳、94歳の女性アスリート。年齢差があるにもかかわらず、どちらの選手も譲ることなくとてもいい戦いをされており、会場内の応援にも力が入っていました。

また、輪投げでは思うように入らず、悪戦苦闘される姿もみられ、応援にも力が入り、“ハラハラ・ドキドキ”。

次回はどんなレクリエーション活動があるのか、皆さんとても楽しみにしてくださっています。

計画作成担当 古屋 純子

我々の仲間入りしました。

- ①抱負、自己紹介等
- ②趣味・特技・好きな言葉、音楽...



やよい荘

看護職員 二宮 尚美



- ①施設長はじめ、一生懸命入居者様のため働かれる看護師、ベテラン介護士、日々いろいろな事がありますがマイペースに仕事に取り組んでいきたいです。よろしくをお願いします。
- ②趣味は体を動かすことです。3年前から始めたゴルフに今ははまっています。あとは、ジムとヨガです。ヨガ歴は6年です。好きな言葉は“ポチポチ”という言葉が好きです。ほどほどに頑張っていきます。

みなみがた荘

介護補助員 吉岡 志緒実



- ①介護施設は初めてのため不慣れですが頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。
- ②散歩

なでしこ苑

看護職員 藤田 巳千江



- ①10月より、なでしこ苑へ入職させていただきました。1年半前までは、岡山済生会総合病院へ勤務していました。そこで学んだ看護経験を活かしながら利用者様の「共に生きる」力になればと思います。よろしくをお願いします。
- ②趣味：旅行 好きな言葉：ついてる

備中荘

言語聴覚士 田山 久志



- ①10月から済生会吉備病院より異動となりました。備中荘では利用者の方々に対して、有益となる介護分野における言語聴覚士の働きについて、何ができるのかしっかりと考えていきたいです。実施できる事柄は、チーム一丸となって取り組んでいきたいと考えております。
- ②趣味：パレーボール、読書（最近、鬼滅の刃は全巻揃えて愛読しています！）

宇垣荘

介護職員 石野 史子



- ①ショートステイは初めてで、目まぐるしく日々過ぎていきます。無理せず丁寧な介助を心掛けたいと思います。
- ②趣味：ライブに行くこと。動物大好き！



編集後記

木々れ陽



11月になりまして、朝夕は少しずつ肌寒くなってきましたが、日中は例年に比べ暖かいです。

ワクチン接種も進み、新型コロナウイルス感染状況も少し落ち着いて、普段の日常を取り戻しつつあります。福祉施設でも徐々にではありますが、面会制限の緩和等が行われるようになりました。第6波も騒がれてはいますが、この状況が続くことを期待しています。

このような中で、衆議院選挙が行われ、自・公で絶対安定多数を獲得し、岸田新総理が国の舵を取ることにありますが、公約に掲げた「国民を幸福にする成長戦略」と「令和版所得倍増のための分配施策」をどのように実現するのは注目です。

コロナによる税収減に加え、対策に多額の費用を投じています。世界競争力ランキング34位、国の借金、急速な少子高齢化が進む日本は、もはや先進国ではないと言われていています。感染対策も重要ですが、これからの日本について考える広い視野を持つことも必要です。

みなみがた荘 森本 尚俊

ライフケア：岡山市北区国体町3番12号 TEL086-252-2222 宇垣荘：岡山市北区御津宇垣2069-10 TEL086-724-0707

憩いの丘：岡山市北区日近1807 TEL086-295-1155 玉松園：岡山市北区御津金川123番地 TEL086-724-0058

備中荘：岡山市北区高松原古才600-5 TEL086-287-3332 和みの郷かなや：新見市金谷641番地 TEL0867-72-1244

福祉施設合同HP <http://www.okasaisei-life.jp/>